

放送大学は、  
あなたの「学び」を応援します。



- 放送大学は、BSデジタルテレビ231ch、BSデジタルラジオ531chでも毎日放送しています。
- 放送大学は1科目から学べます。

学生募集(募集期間2月28日まで)

平成25年 4月入学  
(12月1日~2月末日)

平成25年 10月入学  
(6月1日~8月末日)

《お問い合わせ先》

放送大学 茨城学習センター

〒310-0056 水戸市文京2-1-1(茨城大学水戸キャンパス内)

TEL.029-228-0683 FAX.029-228-0685

http://www.ouj.ac.jp/

## 特集 勅撰千三百年 常陸国

# 風土記の世界

713年、日本の各諸国に、  
天皇より郷土誌ともいえる文書の編さんが指示されました。  
これが風土記です。  
今年は、風土記の編さんが指示されてから1300年という節目の年。  
そこで、茨城の地に残る、常陸国風土記を  
あらためて見つめ直してみたいと思います。

Photo:Kenji Aoyagi

### 5つの風土記のみ現存

710年、元明天皇により平城京に  
都が移され、奈良時代となった3年後、  
元明天皇は諸国に風土や文化、伝承や  
地名由来などをまとめ記した文書の編  
さんを命じました。これは、諸国の  
土地の状況を把握して、地方の支配を  
確かなものにしていくという意図が  
あったといわれています。現在、写本  
として残る風土記が、このときに編さ  
んされたのです。

風土記は各諸国でまとめられたと考  
えられていますが、現存するものは5  
つのみです。「出雲国風土記」はほ  
完全なものが残っていますが、「播磨  
国風土記」「肥前国風土記」「豊後  
国風土記」そして「常陸国風土記」が一  
部に不明な部分が残りながらも現存し  
ており、大変貴重な歴史の郷土誌とな  
っています。なかでも『常陸国風土  
記』は、東日本で現存する唯一のもの  
です。

内容については、郡・郷の名には好  
字(よい意味の字)で表記する、土地の  
産物、土地の肥沃の状態、地名の由来、  
古老が伝える話、の5つを記載するよ  
うに指示が出されています。これによ  
り、その土地に伝わる神話や伝説、  
人々の生活の様子や考え方が現在も  
うかがい知れる貴重な資料でもあります。  
『常陸国風土記』をひもときること  
により、常陸国の歴史と素晴らしい文  
化を、もう一度見つめ直してみたい  
かがでしょう。

風返峠から望む風景からは、1300年前の常陸国を思い描くことができる





### 信太郡

稲敷市にある浮島。当時の霞ヶ浦は内海であり、ここで塩を作っていたとの記述がある



### 香島郡

常陸国の一の神様として、鹿島神宮の由来についての記述がある

### 常陸国 略図



時の人々の考えや文化を知ることができる大切な歴史書となっています。皆さんも、編さん1300年という節目の年に、郷土の歴史文化を伝える貴重な資料として『常陸国風土記』を手にとってみてはいかがでしょうか。

参考文献:『常陸国風土記』(財団法人常陽藝文センター)



### 多珂郡

海で漁を行ったところ、たくさんの獲物を捕ることができたという多珂の郡の海



### 那賀郡

当時は粟河と呼ばれていた那珂川

### 郷土史の原点

現存する『常陸国風土記』には、編さん年代や誰がまとめたのか、といった記述がないためいくつかの説がありますが、優れた文章によって記述されていることから、719年から723年頃まで常陸国司であった藤原宇合によってまとめられたという説が有力です。文章は漢文によって書かれ、伝えられたとされています。

『常陸国風土記』は、鎌倉時代頃までは完全な本があったと考えられています。しかし、当時は書物のほとんどが、人が写し書きした写本でした。そのため写本する人が必要な部分だけを書き写すことも多く、現在残っているものは、当初編さんされたものの3分の1程度にすぎません。

記述されている説話の多くは、その土地にあるさまざまな伝承であり、歴史的事実とは違うものも多くあります。しかし、その土地に伝わる神話や伝説を読み解くことで、



### 行方郡

現存する『常陸国風土記』では、最も記載が詳しい郡である

# よみがえる古代 常陸国

### 茨城郡

土浦市と右岡市の境にある朝日峠からの眺望



## 筑波山の四季・冬

昔、祖神が諸国の神々をお訪ねになり、富士山にお着きになったときにはすっかり日が暮れてしまった。そこで、富士の神に宿を乞うたところ、収穫祭を理由に断わられてしまった。祖神はお怒りになり、富士山を真夏でも雪や霜が残り、人々が登山できず、酒や食べ物を供えることができないようにしてしまった。次に祖神は、筑波山を訪れ、筑波の神に宿を乞うたところ、収穫祭の最中であつたが歓待を受けた。祖神は大いに喜び、歌を歌い踊った。こうして、富士山はいつも雪が積もつて人々は登ることはできず、一方、筑波山には大勢の人々が訪れ、飲み食へ、歌い踊り、今に至っている。

常陸国風土記 筑波郡より





# みんなが創る 人が輝く元気で住みよい いばらき

## さらなる発展へ向けて

**知事** あけましておめでとうございます。蓮見 おめでとございます。  
**知事** 長年、筑波大学で教壇に立たれ、現在は札幌市立大学の学長である蓮見先生と、これからの茨城のあり方などについてお話ししたいと思います。札幌に移られ、外側から茨城をご覧になられていかがですか。

**蓮見** まず、春、夏、秋は別として札幌は今、積雪と氷点下の気候であり、それに比べますと、茨城は別天地で本当にいいところに住んでいたのだなと改めて実感します。

また、飛行機から見える工場群、筑波の研究学園都市など、茨城の産業力、科学技術力を再認識しました。

**知事** 産業面では、本県の平成23年の農業産出額は全国第2位、平成24年上期の工場立地面積も全国第2位と、大変元気のある県だと思っています。

東日本大震災による被災からインフラなどは着実に復旧し、大部分は今年度内に完成する見通しです。今年はさらなる発展にどう結びつけていくかという年になるでしょう。一方で原発事故による風評被害はまだ続いておりませんが、農林水産物などについては徹底した検査をしていますので、安全性を理解してもらえようように努めていきたいと思っています。昨年は東京に、アンテナショップ「茨

城マルシェ」を開設し好評をいただいていますから、こういった場所も活用しながら、さらなる茨城のPRを進めていきたいです。

## エネルギーと環境問題

**知事** ところで原発事故の後、エネルギーと環境問題がクローズアップされていますが、先生はどうお考えですか。

**蓮見** 地域にベストマッチングなエネルギー政策を考えていくべきですね。中期の視点に立ち、私たちの生活を維持しつつ、クリーンで安全なエネルギーに現実を変えていくしかないと思います。

**知事** 本県でも太陽光発電、風力発電などを推進しているところですが、導入に当たっては、電力の安定供給、家庭や企業への安価な電力供給という2つの問題点があります。企業が電力料金の安価な



大規模な風力発電のイメージ

海外に出てしまつと、雇用にも関わってきますので、導入の仕方が大きな課題です。一方で、太陽光発電も風力発電も効率的で安価にするための研究が急速に進んでおり、今の段階での導入すべきか、計画的な判断が必要になってきます。

札幌市立大学理事長・学長  
筑波大学名誉教授  
**蓮見 孝**  
はす み たかし

茨城県知事  
**橋本 昌**



## 地域づくりと教育

**知事** 地域間競争が激しくなっており、世界での日本の地位は低下していかざるを得ません。このような中、地域づくりはどう進めていけばいいかと思われませんか。

**蓮見** 問題の根底にあるのは少子高齢化、過疎化であり、次世代の担い手である年少人口が激減していることです。その中で若い人が夢を持って、自分の一生を何にかければいいかがイメージできません。この不安感を持っていてるようになっています。多様な特性を持つ人たちが、働きたいや生きがいを実感できる仕事を生み出す必要があります。

をやればよいでしょうか。

**蓮見** 出合いがあれば感じることもあると思います。つくばではサイエンスツアーを行っています。科学者が仕事をしているところを子どもに見せるなど、小学生のうちから大学生と交流するなどといった仕組みが必要かもしれませんね。

**知事** 保育園児が県庁に来た時、将来何になりたいかを書いてきてくれるのですが、サッカー選手、パン屋さんなど、日頃見ている身近な職業が出てきます。いろいろな場所を子どもに見せるのは、視野を広げるという意味でよいかもしれませんね。

**蓮見** 大学では、受け身の授業ではなく学生が自ら考え、答えを出し、プレゼンテーションをする、アクティブラーニングをあらゆる授業に取り入れていくようにしています。

**知事** 今の学生と比べると、昔の学生は海外に行きたいとか、何かに挑戦したいという意識が強かったように感じます。

**蓮見** 挑戦したいという意識を育てるのは好奇心です。好奇心は人から与えられるものではなく、自分で育むしかありません。好奇心が宿るような場づくりを社会が積極的に行うべきです。今年はず常陸国風土記勅撰1300年を迎えますが、若い人たちに企画・運営を任せると、郷土の歴史に目覚める人が増えると思いますね。

また、奈良を訪れた時に感じたのは、一般の人でも自分の住む地域の歴史を自然に説明してくれます。このように、自分の地域の歴史の素晴らしさを伝える教育も大切ですね。  
**知事** 郷土教育ということについては、水戸市の堀原という地域では、「火の国まつり」という行事があります。小学校6年生が古代の衣装を身に付け、古墳で火をおこし、たいまつをともして小学校まで運んでいくという祭りですが、これ

は地域の大人たちが資金を出しあい支えているのです。こういった郷土行事をもっと広げていくことがよいと思っています。

**蓮見** そういった行動的な学習を集中的にやっていくと、県の教育にも特徴が出てきますし、賢い子どもを育てるよい機会になると思います。

**知事** 年少人口が減り、若者が海外に出る意欲も少なくなってきたと言われている中、国際的な競争力をつけていくことも重要になってきますよね。本県では国際理解教育、理数教育に力を入れることで、世界で通用する人間を育てていきたいと考えています。

**蓮見** 茨城には多くの大学や研究機関があります。定年になった博士などを活用し、子どもたちの自己研究を支援する研究室をつくる、という取り組みもできるのではないですか。

**知事** 現在、テクノエキスポバートという形で大学の先生、研究者のOBの方々を登録し、指導者を必要としている企業などに派遣する仕組みをつくっています。さらに、未来の科学者育成プロジェクトという形で学校に来ていただき、理科の実験や講義を担当してもらうことも行っています。

## 予防医学への取り組み

**蓮見** 若い人にも頑張ってもらわないといけません。社会に負担をかけない理想的なエイジングの仕組みが必要だと思いますが、そういった面で茨城は先進的な活動をされていますね。ヘルスロード構想や、ホームヘルパー3級資格の取得など、多彩な取り組みをされてきました。厚生労働省が6月に発表した全国の健康寿命は、茨城が男性で4位、女性で7位でした。そこをもっとPRできるのではないですか。



シルバーハシリ体操の様子

**知事** 予防医学の面では、県の取り組みが効果を発揮しているのではないかと思います。例えばシルバーハシリ体操指導者が5千人おり、1年間の体操体験者が延べ40万人に上ります。ヘルスロードについても、歩行した距離に応じて賞を設定したところ、チャレンジする人がたくさんおられ、活用も広がってきています。そういう形で動機付けをしなから、健康づくりに取り組んでもらうことが大事だと思っています。

**蓮見** 医学も、今までの治療に特化した医学から、総合的に健康支援をする医療へ大きく舵を切り始めています。総合的、先進的な医療のあり方という面でも、茨城は健康寿命の順位が高いわけですからリーダーシップをとって進めていければよいと思います。リハビリテーション技術を、総合的な健康支援プログラムと合わせ、茨城の産業力で開発していくことは、今後の社会を見据えた上でも意義深い取り組みであると思います。

**知事** リハビリテーションの支援体制として、県立医療大学をトップに、9つの保健医療圏ごとに中心となるリハビリテ

ーションセンターを置き、その下におおむね3つずつリハビリを行える体制を整えた病院を置いていきます。一方で、本県は、人口10万人当たりの医師数では全国で下から2番目で、医師不足は大きな課題です。医師の定着を図るため地域医療支援センターをつくり、医学生のカリキュラムの相談に乗るなどしています。今年の新卒医学生は前期研修を行う病院を決定するマッチングでは前年比26人増の研修医131人を確保できました。今後も医師の定着化を図る努力をしてまいります。

## 新内閣への期待

**知事** 昨年末に総選挙があり、新しい内閣が誕生しましたが、先生は大学という立場から見られて、新内閣にどのような期待を持たれていますか。

**蓮見** 政治だけではなく、日本社会の精度が低下しているのではないかと思います。茨城も被災県ですが、国全体では復旧すらもきちんとできていないという実態がみられます。物事を決めた通りにきちんとやりとげるといふ美意識を取り戻していかなければならないと思います。

もうひとつはコミュニケーションの再生です。家庭、地域、学校が崩壊し、支えあって生きてきた基本構造が壊れてしまいました。それを制度的にも編み直していく指導力が求められます。

**知事** 震災後、絆が盛んに言われ、基本になるのは地域社会だということ意識を強めた人が多いと思います。防災に限らず、日頃から高齢化社会の中で、お互いが信頼し助け合いながら暮らしていけるような体制をつくるのが大切です。地域社会の仕組みを再構築していく必要があると思います。

先生は今年も、北海道と茨城を行き来されると思いますが、ぜひ今後も茨城県の応援をしていただければと思います。



いばらきの歴史再発見

# 県西地方の覇者 結城一族

Photo:Takehiko Maekawa



いばらき女性特派員 藤本瑠南さん

鎌倉・室町・戦国時代のおよそ四百年間にわたり、県西地方に覇を唱えた名門結城一族の事跡を、いばらき女性特派員の藤本瑠南さんが訪ねます。

## 初代 朝光

鎌倉時代

源頼朝の御落胤説もある鎌倉幕府御家人



紙本着色結城朝光肖像画 称名寺所蔵 写真提供:結城市教育委員会



称名寺にある朝光の墓

結城合戦で散った氏朝へ思いをはせることのできる、結城城跡内にある内堀跡



氏朝は幕府に逆らい約1年におよぶ戦いの末、戦死している 国立歴史民俗博物館所蔵

## 第十一代 氏朝

室町時代

弱気を助け幕府に反旗を翻した義の武将

## 第十八代 秀康

戦国時代

数奇な運命をたどる將軍秀忠の兄



秀康の兜 秀康の菩提寺である福井市の運正寺にある、秀康が所用したとされる兜「黒漆塗唐冠形兜 飛雲輪立付」 運正寺(福井市)所蔵 写真提供:大阪城天守閣

### 結城氏略系図



**初代 結城朝光**  
1167年、栃木県小山地域を治めていた小山政光の三男として生まれたのが結城朝光です。母(寒河尼)が源頼朝の乳母だったことから、朝光が13歳の時から頼朝のお世話係となり、行動をとにもするようになりました。

1183年、志田義広の乱を鎮めた小山一族に下総国結城郡が領地として与えられ、ここに小山家より独立した朝光が結城家を興します。この時、朝光は若く16歳。その後、鎌倉幕府の中で実力を発揮し、重要な役職を与えられ、結城家の400年余りにわたる礎を築いていきます。

**11代 結城氏朝**  
1438年、鎌倉公方・足利持氏は、室町幕府に逆らい(永享の乱)、敗れて自害します。その子、春王丸と安王丸は、父の仇である前の関東管領・上杉憲実の打倒と鎌倉公方の復活のため兵を挙げ、結城城の結城氏朝を頼ります。氏朝は持氏に恩義があり、その二人の子より助けを求められたからには、それに応えるのが武士の義と考え、結城家の滅亡も覚悟して幕府に反抗します。これが結城合戦(1440~41年)で、約1年の戦いの末、氏朝と子の持朝は戦死。これにより結城氏は滅亡してしまいます。

しかし、後に足利持氏の息子、万寿王丸(成氏)が鎌倉公方となったこともあり、結城合戦の時に城外に逃れていた氏朝の子、成朝により結城家は再興されます。

### 結城市内にある 結城一族ゆかりの地



結城城跡 結城市内に残る結城城跡は現在は公園となっている。当時の城を思い起こさせる建築物はないが、公園前にある内堀跡が城の面影を感じさせてくれる



称名寺 寺内には仏教を厚く信仰していた初代結城朝光の墓が建てられており、朝光の肖像画に加え木像も所蔵されている



乗国寺 乗国寺は結城家の13代成朝が先代の持朝をともらうために開山したのが始まりと伝えられている。結城家の菩提寺である。16代政勝の座像が所蔵されている

**18代 結城秀康**  
秀康は徳川家康の次男として生まれましたが、豊臣秀吉の元へ和平の証として養子として出されていました。結城家の17代である晴朝が、自分に息子がいないため秀吉に養子をお願いすると、秀康を養子として出すことを認めたのです。このため、結城家の18代として秀康が誕生しました。秀康は結城城の新たな城下町建設を手がけ、現在に続く結城市街地を形づくっています。

関ヶ原の戦いの後、秀康は今の福井県へ国替えとなり、平安時代末期から県西地区を治め続けた名門結城家の支配は終わりを迎えました。



# わが街自慢

## のむ ヨーグルト

守谷市

ミルク工房もりや  
営業時間 9:00~15:30(土曜定休)  
守谷市立沢2058  
TEL.0297-47-8639  
のむヨーグルト 350円(500ml)、  
150円(150ml)



**地** 元の新鮮な生乳を使って熟成、香料や安定剤、酸味料は一切使うことなく、本当の本物の味にこだわった、のむヨーグルトです。ゆっくりと熟成させることでコクと粘度を生み出し、生乳本来の味を引き出しています。糖度と酸度のバランスが良く、ヨーグルトが苦手な方でも「このヨーグルトなら飲めます」と言ってくれる人もいます。こだわり抜いた自信のヨーグルトをお試しください。(ミルク工房もりや 長塚 武さん)

## 俵 ハンバーグ

桜川市

ハンバーグレストラン ペンギン  
営業時間 平日11:30~14:30、17:30~21:00  
土日祝日11:30~20:30(月曜定休)  
桜川市真壁町塙世560-1  
TEL.0296-54-1193  
俵ハンバーグセット 1,370円(160g)



**脂** 身の少ない、黒毛和牛もも肉100%の俵ハンバーグは、肉本来のおいしさを味わえると、多くの人たちにご好評をいただいています。ハンバーグにかけるソースは7種類あり、一番人気はフランス産の塩。この塩をわずかにつけて食べれば、ハンバーグに秘められた本当の肉のうまみを知ることができます。ハンバーグの大きさや焼き加減も選んでいただくことができますので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。(ペンギン 井上のり江さん)

Photo:Takehiko Maekawa

### フォトいばらき読者アンケート

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名の方に、茨城県立歴史館のペアチケットを差し上げます。

▶締め切りは2月28日(木)到着分

フォトいばらき読者アンケートにご協力ください。  
インターネット、携帯電話、PHSからもご利用可能です。

#### 1.インターネット・携帯から

フォトいばらきのページにある「アンケート」の項目をクリックして、アンケートページへお進みください。

#### ■インターネットホームページ

茨城県のホームページから、もしくは主要検索サイトから「フォトいばらき」で検索し、アンケートページへ。

フォトいばらき 検索

#### ■携帯電話用QRコード



#### 2.ハガキで

以下の項目をご記入の上、質問に関する番号を明記してご応募ください。

#### ■送り先

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 茨城県広報広聴課「フォトいばらき」担当

#### ■以下の項目を必ずご記入ください

●お名前(ふりがな) ●性別 ●年齢 ●郵便番号 ●ご住所 ●お電話番号

#### ■本誌に対する以下の質問にお答えください

●質問1 あなたが面白いと感じた記事をお選びください(複数可)

①常陸国風土記の世界 ②筑波山の四季・冬 ③新春対談

④いばらきの歴史再発見 ⑤わが街自慢

●質問2 今後取り上げてほしいテーマは?

●質問3 本誌に対するご意見・ご感想

フォトいばらきは年4回発行しています。  
次号(春季号)No.591は3月31日発行予定です。

フォトいばらきは、県内の公共施設、理美容店、銀行、病院などに置いてあります。

県の広報紙へ広告を掲載しませんか!

県では、広報紙「ひばり」、グラフ誌「フォトいばらき」への広告掲載を募集しています。詳しくは県広報広聴課 TEL.029-301-2128までお問い合わせください。